

「従業員が真面目に仕事をしているのに成果が上がらない組織の課題は、仕事のやり方が旧来のままで、今の顧客や市場のニーズにマッチ出来ていないこと。成果の出せなくなった方法で、従業員が頑張っても、疲弊するばかりです。マッチした仕組み・方法に変え、自発的に変革を継続できる組織に……」



受講者は体験演習の中から気づきを得る

と数多の組織が抱える悩みを「組織風土改革」という手法で解決に導くのが、石川歩氏だ。

### 「組織風土改革」とは

組織風土とは、目には見えない組織の体質、文化のこと。これを改革するのが「組織風土改革」だ。組織員の意識を変え、行動変容を起こす支援を行う。依頼を受ける時、組織のトップや責任者と必ず話すことがある。「従業員の意識と人間関係の

質を変え、やる気と活気を高めることが第一で次に業績。それが長期的に発展する組織風土づくりであることに理解・賛同してもらいます」

その後、目指したい風土を聴き、取り組みを提案するという。

### 独自支援プログラムの秘訣！

豊富な研修プログラムと従業員による変革活動やベンチマーキング等を組合せ、カスタマイズした企画をする。

石川氏の研修の大半が「体験気づき型研修プログラム」だ。研修で行う演習に変革の必要性と変革の視点のヒントが仕掛けられており、それが高い人気を誇っている。

「まず行うのは『本音の本音』をさらけ出せる場の構築。その上で、現状を変える必要性に気が



演習が心理学等をベースとした体験型のゲームやワークであるのが特徴  
他社が「気づき」を有効活用した事例も紹介

## 従業員の意識改革で組織も人も活性化する！

# メンタリティ・シフトに焦点をあてた 長期的に発展する「組織風土改革」

組織風土改革コンサルタントとして活躍する有限会社アイルインターナショナルの石川歩社長。組織に属する人々にやる気を与え、主体的な行動を起こさせる手腕が人気を博している。「どうすれば成果の上がる組織になるのか」。その極意を聞いた。



石川 歩

Ishikawa Ayumi

#### Profile

有限会社アイルインターナショナル 代表取締役社長  
公益財団法人日本生産性本部コンサルティング部  
風土改革コンサルタント兼研修講師

1962年生まれ。大学卒業後、パイロット萬年筆入社。87年に(公財)日本生産性本部に入職し、その後独立。90年、(有)アイルインターナショナル設立。2つの組織に所属して活躍する。「仕事力」(生産性出版)ほか著書多数。



一人ひとりに寄り添い、変革を促す

づかせ、目指したい風土ビジョンを語り尽くし、思いを集約します。この過程を踏むと活動がやらされ感から脱却します」

成功の鍵は、気づきを得て本気で活動し企画するキーマンを探すこと。必ずしも優秀な人とは限らず、組織で埋もれている人や部署の場合もあるという。

従業員のやり甲斐に焦点を当てた石川氏の支援は「今ままで最も楽しく、役に立った」との感想が多数寄せられている。

支援の仕方もある長期の風土改革から、従業員の意識を変え、単発の研修提供まで、依頼先の要望に沿い、柔軟で幅広い。業種業界、規模を問わず、年間二三日も全国の組織を回っている。

### トップ営業マンからの転身 元気な企業をさらに増やしたい

大学卒業後、パイロット萬年



筆に入社した石川氏。新規事業部で社内唯一の飛び込み営業をやるも、全く成果が出せなかった。ある日、「どうせダメ」という否定的な自身の気の持ち様に気付いたという。そこで意識を改めたところ、成績が劇的に変化。三期連続の表彰を受けた。

その後、公益財団法人日本生産性本部へ転職。衛星放送の映像プロデューサー兼ディレクターを務めた後、研修部門で研修講師として活躍。マネージャーを任されるまでになるが、よりコンサルタント業と講師業に特化するために独立。現在も社長の傍ら、同財団の認定経営コンサルタントとして、組織風土改革と研修分野で活躍する。

「今後もイキイキした人と企業を増やす、支援の輪を広げたいですね」

と石川氏は語ってくれた。